

「秋田車両センター在来線仕業検査業務の委託について」 提案を受ける！

9月18日会社より「秋田車両センター在来線仕業検査業務の委託について」提案を受けました。
 提案内容は以下の通りです。

1. 概要

これまでも当社は、グループ会社への業務委託拡大をすすめてきたが、今回新たに在来線仕業検査業務を JR 秋田鉄道サービス(株)へ業務委託することとし、さらなる水平分業の拡大と、グループ一体となった業務体制の推進を行う。

2. 委託内容 在来線車両の仕業検査業務等

3. 実施時期 2019年12月1日(日)

4. 要員体制

箇所名	関係職	記事
秋田車両センター	車両 63 $\Delta 2$	*7H-1形×50、交代2形、交代3形×3を *7H-1形×48、交代2形、交代3形×3とする。

5. その他 必要な教育を実施する。

組合

- 業務委託の目的は？
- これまで一部業務が残っていた理由は？
- 新幹線の仕業検査は残るのか？
- 仕業班はなくなるのか？
- 出向は発生するのか？
- エルダーの雇用先として何年先まで見据えているのか？
- 本体からの出向に頼らないで運営を目指している中で JARS の採用状況は？
- 要員はマイナス2なのか？
- 面談のスケジュールは？
- JARS では既に在来線の仕業検査を担当しているが、今後必要な教育はあるか？
- 委託内容の仕業検査業務等の「等」とは何か？
- 今後、新車導入もある中で教育についてどのように考えているのか？
- 車両故障や修繕が必要な場合の対応は？
- 現行、仕業検査の本数は？

会社

提案交渉での議論内容

- グループ全体のレベルアップと更なる深度化を図る。
- 2012年当時は新幹線と在来線混みの作業ダイヤということと、JARSの業務量とのバランスを考慮し委託しなかった。しかし、今回そのことが解消し委託出来ると判断した。
- 新幹線は本体に残り現行通り夜間に行う。日中の発前仕業も稀に発生するが本体で行う。現行の仕業A・B番の作業ダイヤに、保全グループの業務を日中帯に組み入れることを考えている。
- 仕業班として仕事は残るので班体制はそのまま。仕業と交検の多能化を図るので、事前に必要な教育はしていく。
- エルダーの雇用先として、出向はありえる。
- 年齢構成を見るとあと約10年でエルダー社員も減少してくる。
- 業務をしっかりと担ってもらうため協力し意見交換をしている。採用計画までわからないが JARS も採用を続けている。
- マイナス2になる。
- 今日の提案以降、個人を把握しながら面談をしていく。
- 現行であれば必要な教育はないが今後、キヤ E195 は本体も含めて教育が必要になってくる。
- 現行 A・B 番が行っている、休車の札の掲出・撤去と朝のコンプレッサーの稼働状況を確認する作業も委託する。
- 本体も監督する立場として技術力を維持するために教育はしていく。導入され次第、現車を使って教育する。
- 本体で対応する。連絡体制は確立できている。
- 朝行うものと日中時間帯で7本ある。他に臨時の仕業検査が発生すれば対応している。

施策について不明な点は地本業務部まで問い合わせください！